

8-port USB 3.0 MIDI interface with USB hub

M4U eX

16-port USB 3.0 MIDI interface with USB hub

M8U eX

ユーザーズガイド



■イントロダクション

この度は、ESI M4U eX / M8U eX をお選びいただきありがとうございます。

M4U eX / M8U eX は、自動入出力検出、スタンドアロン操作オプション、統合 3 ポート USB ハブを装備した便利かつ強力な 8 ポート (M4U eX) / 16 ポート (M8U eX) の USB 3.0 MIDI インターフェースです。M4U eX / M8U eX を使用することで完璧な MIDI タイミングとパフォーマンスを得ることができます。

このドキュメントは非常に短く、内容全体が M4U eX / M8U eX のすべての機能を理解するために重要ですので、時間を作ってお読み頂くことをお奨めいたします。

■特徴

- USB 3.0 MIDI インターフェース
- 100%クラス準拠、ドライバーのインストール不要
- USB バスパワー
- 前面と背面に各 4 個、計 8 個 (M4U eX) / 各 8 個、計 16 個 (M8U eX) の MIDI ポートを装備
- 自動入出力検出、各ポートは MIDI 入力、または MIDI 出力として機能
- スタンドアロン動作可能
- 1 つの MIDI 信号を 7 (M4U eX) / 15 (M8U eX) の出力に送信するスタンドアロンモードでは MIDI スルーボックスとして使用可能
- 7 個 (M4U eX) / 15 個 (M8U eX) の MIDI 信号を単一の出力するスタンドアロンモードでは MIDI マージボックスとして使用可能
- コンピューター不使用でも他のポートに MIDI 信号をパッチ可能
- USB デバイスに給電するための外部 5V DC 電源を備えた 3 ポート USB 3.0 ハブを装備
- 1 台のコンピューターで一度に複数台使用可能
- USB 2.0 レガシーモードによる USB 2.0 との下位互換
- 寸法：約 17.5cm x 12.0cm x 4.5cm (M4U eX) / 約 32.5cm x 14.5cm x 4.5cm (M8U eX)

■フロントパネル

例：M8U eX



フロントパネルには左から右に8個（M4U eX） / 16個（M8U eX）のLEDがあり、それぞれが緑色（対応するポートがMIDI入力として機能していることを示す）または赤色（対応するポートがMIDI出力として機能していることを示す）になります。LEDの隣には1～4番（M4U eX） / 1～8番（M8U eX）のMIDIポートがあり、右側にはスタンドアロンモードを選択するためのMODEボタンがあります（詳細は後述）。その上にステータスLEDがあります。ユニットがスタンドアロンデバイスとして使用されている場合（電源が接続されている場合）は赤色で、USBを介してコンピューターに接続されている場合は緑色に点灯します。

■リアパネル

例：M8U eX



リアパネルには、M4U eX / M8U eXをコンピューターと接続するためのUSB HOSTコネクタの横に5～8番（M4U eX） / 9～16番（M8U eX）のMIDIポートがあります。その右側に3つのUSB 3.0ポートがあり、コンピューターと他のUSBデバイス（USBキーボード、USBメモリ、USBドングルなど）を接続して使用することができます。また、DC 5Vコネクタには付属の電源アダプターを接続し、M4U eX / M8U eXに電源を供給します。一番右には、ユニットの盗難防止用の標準ラップトップロックコネクタがあります。

■機器の設置と準備

最初にコンピューターのUSBポートの位置を確認し、コンピューター本体の電源が入っていることを確認してください。付属のUSBケーブルでM4U eX / M8U eXの背面コネクタとコンピューターのUSBポートを接続します。ドライバーのインストールは不要です。コンピューターにUSB 3.0ポートとUSB 2.0ポートの両方がある場合には、USB 3.0ポートを使用するとパフォーマンスが向上します。USB 3.0ポートはほとんどの場合、コネクタのカラーが青色になっています。詳細については、コンピューターのマニュアルをご参照ください。M4U eX / M8U eXに付属の5V DC電源アダプターを接続します。電源アダプターを使用しない場合、本体はMIDIインターフェースとしてのみ機能します（USBハブは無効になります）。USBハブを使用する場合には、電源アダプターを使用して、他のUSBデバイスが十分な電力を得られるようにしてください。

■アプリケーション上での使用

M4U eX / M8U eX の MIDI ポートは、MIDI 互換ソフトウェア上で自動的に表示されます。各ポートは、1 から始まり 8 (M4U eX) / 16 (M8U eX) で終わる番号付きのデバイス名で表示されます。特定のポートを出力として使用する場合は、対応する番号のデバイスを選択してデータを送信すると、M4U eX / M8U eX のフロントパネルで対応する LED が赤色に点灯します。このポートが、音源モジュールやシンセサイザーなどのデータを送信するデバイスの MIDI IN に接続されていることを確認します。ポートを入力として使用する場合は、MIDI キーボードなどのデバイスの MIDI OUT ポートを接続します。データを受信すると M4U eX / M8U eX フロントパネルで対応する LED が緑色に点灯します。このデバイスのデータは、アプリケーション上で対応する番号とともに送信されます。多くの MIDI 互換ソフトウェアでは、デフォルトですべての MIDI 入力と同時に使用可能となることに注意してください。詳細は使用するアプリケーションの取扱説明書などをご参照ください。

■スタンドアロン操作

M4U eX / M8U eX は、USB でコンピューターと未接続で、5V DC 電源を用いて使用した場合、スタンドアロンモードで動作します。スタンドアロンデバイスとして使用した場合、MIDI 信号を入力から出力にルーティングできます。その際、USB 3.0 ハブは無効になります。また、フロントパネルの MODE ボタンを押すと、以下のモードで動作します。

・パススルー (モード 1)

パススルーモードの場合、常に 2 つのポートのグループが MIDI 入力 (緑色の LED 点灯) になり、次の 2 つが MIDI 出力 (赤色の LED 点灯) になります。つまり、MIDI 信号は、入力 1 から出力 3、入力 2 から出力 4、入力 5 から出力 7、入力 6 から出力 8 (M8U eX の場合はさらに、入力 9 から出力 11、入力 10 から出力 12、入力 13 から出力 15、入力 14 から出力 16) のようになります。M4U eX / M8U eX を MIDI デバイス間に接続したままにし、コンピューターの電源をオフにしてもマスターキーボードを使用してサウンドジェネレーターに信号を送信することができます。

・MIDI スルー (モード 2)

MIDI スルーモードの場合、ポート 1 は MIDI 入力になり (LED 番号 1 が緑に点灯)、他のすべてのポート 2~8 (M4U eX) / 2~16 (M8U eX) は MIDI 出力になります (これらの LED は赤に点灯)。ポート 1 を通過する MIDI 信号は、他の MIDI ポート 2 から 8 (M4U eX) / 16 (M8U eX) を介して同じように分配されて送信されるため、1 つの MIDI 信号を最大 7

(M4U eX) / 15 (M8U eX) の異なるデバイスに配信できるようになります。

・MIDI マージ (モード 3)

MIDI マージモードの場合、ポート 8 (M4U eX) / 16 (M8U eX) は MIDI 出力 (LED 番号 8 (M4U eX) / 16 (M8U eX) が赤に点灯) になり、他のすべてのポート 1~7 (M4U eX) / 1~15 (M8U eX) は MIDI 入力 (これらの LED が緑に点灯) になります。MIDI ポート 1 から 7 (M4U eX) / 15 (M8U eX) のいずれかに送られるすべての MIDI 信号が一つの情報としてマージされ、出力ポート 8 (M4U eX) / 16 (M8U eX) から同時に送信されます。これによって最大 7 台 (M4U eX) / 15 台 (M8U eX) の MIDI デバイスからの MIDI 信号をマージして、1 つのデバイスに送信できます。

SysEx データは、入力が優先される入力番号 1 から到着したときのみ転送されますので注意が必要です。これは SysEx データストリームの転送中に他の MIDI 信号をマージするとデータが破壊されて使用できなくなるためです。SysEx データの継続的な転送が必要な場合、デバイスを MIDI マージボックスとして使用することはお勧めしません。

■追加オプション

M4U eX / M8U eX 本体には、ユニットの下部にある DIP スイッチを介して変更できる追加オプションがあります。設定を変更するには、細かいボールペンまたは小さなドライバーや針などが必要です。オプション変更は、M4U eX / M8U eX がコンピューターに接続されておらず、DC 電源も供給されていない場合にのみ変更できます。変更を行う前にこれらのケーブルを最初に取り外してください。



・1 台のコンピューターで複数のユニットを使用する (DIP スイッチ 1)

1 台のコンピューターで M4U eX / M8U eX を複数使用してより便利にするために、1 台の M4U eX / M8U eX を最初の (または「A」) デバイス、もう 1 台の M4U eX / M8U eX を 2 番目の (または「B」) デバイスに指定できます。コンピューターでは、どのデバイスがどのポートを使用したかを記憶するため、1 つの M4U eX / M8U eX が一時的に切断されたり、デバイスを別の USB ポート、あるいはケーブルで接続した場合でも、ソフトウェアと物理 MIDI ポート間の割当変更は不要です。これは実際には複数ユニット使用のための要件ではありません (たとえば、一度に 2 つ以上の M4U eX / M8U eX を使用することも可能です)。しかしながら、複雑なセットアップが度々変更される場合においては大変有効な機能となります。ユニットを「A」として指定するには DIP スイッチ番号 1 を OFF (下の位置) に保ち、「B」として指定するには ON (上の位置) に設定します。つまり、2 つの M4U eX / M8U eX を使用す

る場合には、1つを「A」、もう1つを「B」として設定してください。

・MIDI ランニングステータスオプション (DIP スイッチ 2)

M4U eX / M8U eX は、DIP スイッチ番号 2 を ON (上の位置) にすることで、いわゆる MIDI ランニングステータスを有効にできます。MIDI ランニングステータスを使用すると、MIDI 転送の際に特定のステータスバイトを削除できます。M4U eX / M8U eX に接続するデバイスがランニングステータスをサポートしている場合、転送されるデータ量を減らし、パフォーマンスの改善ができます。このオプションを使用する前には、www.midi.org で MIDI デバイスのマニュアルで詳細を確認し、ランニングステータスについて詳細を確認してください。

・USB 2.0 レガシーと USB 3.0 高性能モード (DIP スイッチ 3)

M4U eX / M8U eX は、USB 2.0 レガシーモードが有効の状態出荷されます。これは、Windows 7 などの多くの古いオペレーティングシステムにおける MIDI デバイスの USB 3.0 サポートが限られているためです。USB 2.0 レガシーモードの場合、M4U eX / M8U eX 内の USB MIDI インターフェースは、パフォーマンスの高い USB 3.0 デバイスではなく、USB 2.0 デバイスとして機能します。3 ポートの USB 3.0 ハブは、この設定の影響を受けません。USB 2.0 レガシーを無効にし、USB 3.0 高性能モードを有効にするには、DIP スイッチ番号 3 を ON (上の位置) に設定します。この設定は、Windows 10 や現在のバージョンの macOS など、より新しいオペレーティングシステムにおいて本機を使用した場合に推奨されます。

■一般情報

・商標

ESI、M4U、M4U eX および M8U、M8U eX は、ESI Audiotechnik GmbH の商標です。Windows は、Microsoft Corporation の商標です。その他の製品名及びブランド名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

・免責事項

すべての機能と仕様は予告なく変更される場合があります。また、このマニュアルの一部は継続的に更新されています。最新の更新情報については、ESI または国内総代理店 (株) 銀座十字屋ディリгент事業部の Web サイトにてご確認ください。

・お問い合わせ窓口

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、ディリгентのカスタマーサポートまでご連絡ください。

なお、サポート・サービスをご利用いただくためには、ディリгентへのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

ディリгентへのご登録方法：ディリгентサポートページにアクセスし、ESI オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

ディリгентカスタマーサポート：電話でお問い合わせの際は、ディリгентへのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、ディリгентサポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

● **電話番号：03-6264-7818** 受付時間:月曜日～金曜日 10:30～17:00（弊社特別休業日を除く）

● **ディリгентサポートサイト**：<https://dirigent.jp/support/>

ESI 国内総輸入代理店 株式会社銀座十字屋ディリгент事業部